



BOOMERANG

ボーイスカウト川崎地区賛助会は1984年に川崎地区協議会の財政支援を目的として、川崎地区の有志により設立されました。この会報「ブーメラン」は当会の歴史と活動内容を広く皆様へご紹介する目的で発行しているものです。また、賛助会の運営趣旨にご賛同いただける方へのご入会促進メッセージでもあります。この機会に是非ご入会を検討いただければ幸いです。

ご挨拶

日本ボーイスカウト川崎地区賛助会

会長 木村 耕三

令和4年度にあたり

平素は日本ボーイスカウト川崎地区賛助会にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様を持ちましてボーイスカウト川崎地区賛助会の運営につきまして順調に遂行できますことに衷心より御礼申し上げます。

ご案内の通り3月22日に「まんえん防止等重点措置」が解除されました。これまでスカウト活動が制限されていましたが、3月22日以降はコロナ感染に細心の注意を払いながらも、待ちに待ったスカウト活動ができるようになります。お陰様で理事会にて川崎地区へのボーイスカウト活動のための令和4年度の賛助金を決定いたしました。総額520,000円で詳細は下記の通りでございます。

■令和4年度賛助金 理事会で決定される

地区ラリー（スカウトフェスタ）	150,000円
ポルチモア派遣交流	200,000円
ビーバー祭り	40,000円
ボーイスカウト講習会	30,000円
ボーイスカウト・スキル・サポート・セミナー	20,000円
白梅隊	50,000円
スカウターズフォーラム（仮称）	30,000円
合計	520,000円

川崎地区においても令和4年度の活動計画は従来通りの活動が予定されているとの報告を受けており、令和4年度活動に大いに期待しております。

今夏はサテライト会場として川崎市東扇島公園で第18回日本ジャンボリーが開催されます。4年ごとの開催でスカウト・指導者は地元開催であり大きな盛り上がりを見せています。令和4年度はボーイスカウト活動を応援すべく、新たな企画を練り上げ会員拡大と増収を計ることを実行して参ります。会員の皆様には今後ともご支援ご協力を賜ります様衷心よりお願い申し上げます。

■賛助事業成果紹介（川崎地区活動紹介）

●GATC川崎27期 無事終了

スカウト支援委員会

GATC川崎27期 隊長 井上 景

GATC(ゴールデン アックス トレーニングコース)川崎27期の解隊式が3月13日に黒川青少年野外活動センターで行われました。今回のGATCは、昨年9月5日からスタート。

当初はこの日に結隊式を行い、活動を開始する予定でしたが、コロナの感染拡大の影響でWeb集会からは始まりました。結局、結隊式は1か月あまり先の10月10日に。

コロナ禍での活動ということで、当初から規模を縮小して実施の計画でしたが、申し込みが25名を超え、スカウトたちの期待が高いことを感じました。



その後も、コロナの感染拡大の影響を受け、予定変更や内容の見直しがあったものの、例年並みの活動に近づけることができました。チームビルドを目的とした研修「プロジェクトアドベンチャー」、夜から朝にかけて行うハイキング「オーバーナイトハイキング（小田原→沼津）」、大型の橋づくり「パイオニアリング」など、さまざまなプログラムを実施。企画・運営を予定していた「川崎地区70周年記念式典」は残念ながら中止となってしまいましたが、その代わりに、スカウトたち自身が企画する交流プログラムを実施することとなりました。

コロナ禍という困難に見舞われたスカウトたちですが、逆に団結力が身についたのではないのでしょうか。制限のある中でプログラムでしたが、スカウトたちには経験と仲間づくりの場が提供できたのではないのでしょうか。

●ボーイスカウトスキルサポートセミナー 指導者養成委員長 曾根 純一

2月27日(日)心地よい冬晴の下、川崎市青少年の家で、ボーイスカウトスキルサポートセミナーを開催しました。このセミナーは、ボーイスカウトプログラムに必要な基本的技能を楽しく体験し、スカウトスキルを身につけていただくため開催し、5月に



WBスカウトコースに参加される方、ボーイスカウト隊の副長になられた方、スカウトスキルを身につけた方、保護者の方々が参加されました。

5つの野外活動セッションを、トレーニングチームの指導員が担当し、たちかまどに使う巻き結び、角しばり、筋交い縛りなどの口

ープ結びを、一人ひとりに丁寧にレクチャーして、約30分でたちかまどが完成しました。



ファミリーキャンプでドームテント、タープなどを使いキャンプをされている方々は、ボーイスカウトがスカウトキャンプで使う、A型テントや食堂フライの

設営・乾燥・撤営などは経験がなく、指導要員はテント、食堂フライを設営する場所、ポールの方、ロープの張り方、ペグの打ち方など丁寧に説明し、参加者の方々は、みんなで楽しく協力し建てました。

小学校、中学校のスカウト達が5泊6日の野営生活に必要な、食堂フライ、テントが立てられる。倒れないたちかまどが作れることを聞き驚かれた参加者もいました。

完成後、指導者養成委員会で用意したサプライズ“ぜんざい”を振舞いましたら、あっという間になくなりました。(笑)・(笑)

これからもスカウト教育の促進につなげていくよう、指導者養成事業を本運動の発展の要ととらえ、講習会の開設を行います。

●70周年記念事業シンボルマークについて 地区委員長 北條賢一

ボーイスカウト川崎地区協議会創立70周年記念事業は当初2020(令和2)年度に計画されました。それは60周年記念事業が2010(平成22)年度に実施されていたことによるものでした。しかしボーイスカウトが川崎に誕生したのは1950(昭和25)年ですが、地区協議会は翌年1951(昭和26)年に結成されています。つまり今回の70周年記念事業が新型コロナウイルスまん延防止のため、すべて翌年に延期されたことは「川崎地区協議会創立70周年」の年にピッタリとあった結果となりました。

ところがご存知の通り新型コロナウイルスの流行は第5波、6波と続き、記念事業の「スカウトフェスタ」そして年が明けた「記念式典」も中止となってしまったことはとても残念なことでした。

そんな中、年度末には記念品「巾着袋」と記念誌が各団に配送され、そのデザインは前年にテーマ「つながる つな



70周年記念誌(左)
記念品「巾着袋」(右)

げる 今までも これからも」に合わせて各団より応募され決定した川崎 39 団 CS 隊湯浅スカウト考案のシンボルマークがモチーフになった素晴らしいものでした。それは川崎 7 区を想像させる 7 色の虹が象徴的でまさに川崎スカウティングの明るい未来そのものです。

●Baltimore-Kawasaki

姉妹都市スカウト交流

バーチャルスカウト交流の目指すところ

国際委員長 西角 恵輔

昨今のコロナウイルスの猛威はまだ解決の方向が見えるまでには至っていないのが現状です。この状態が続く中、ボルチモアとのスカウト交流は 2019 年の川崎隊のボルチモアへの派遣を最後に 3 年間延期となりました。しかしながら 35 年以上も続く両市のスカウト交流を途絶えさせる訳には参りません。派遣隊の世代交代がある中、継続的な交流をなんとか実現しなくてはなりません。国際委員会では、IT の



力を借りた WEB 交流を実現すべく昨年度から活動を続けて参りました。

昨年度、8 月 29 日には双方のスカウトやリーダーが 50 名近

く参加して、WEB 会議での交流が実現しました。本年度は、さらにバーチャルスカウト交流を実現すべく様々なイベントを企画し、派遣隊の年代のボーイスカウトやガールスカウトに参加していただき、来年度のリアルな派遣への準備としたいと考えております。

春には「B-K SAKURA WEB BATTLE」と銘打って、双方の桜の名所をビデオにまとめて、交流する企画を実施中です。日本だけでなく、ワシントンなどボルチモア近郊も桜の名所でお互いに実際に訪れたい場所を予め知っておいて、派遣のイメージを膨らませます。デジタルネイティブ世代のスカウト達は、短期間に自分たちでビデオを完成させることができます。新しいスカウト交流のあり方として、次年度以降も継続したいと考えています。

今後富士登山（7 月下旬）や JAMBOREE ON THE INTERNET (JOTI) への参加（10 月）などを企画をして、ボルチモアとのバーチャル交流だけでなく、国際交流に興味のある川崎のボーイスカウトおよびガールスカウトのスカウト、リーダー、保護者の交流を活性化したいと考えています。そして来年度の受け入れや派遣をスムーズに進められるよう備えます。このような企画を実現できるのは、賛助会のご支援あってのことです。厚く感謝を申し上げますと同時に、

引き続き末長いご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

【特別寄稿】

今回は賛助会員でもある織田勝久川崎市議会副議長から、スカウト活動への展望という観点で寄稿いただきました。

ボーイスカウト活動が、ますます青少年健全育成の「かなめ」に

令和 4 年 5 月
川崎市議会 副議長
賛助会会員
織田 勝久

三指

賛助会の皆さまには、ボーイスカウト活動を主に財政面からお支えを頂いておりますことに、あらためまして厚く感謝を申し上げます。



さて、お蔭さまをもちまして、市議会議員として長く活動をさせていただいておりますと、地域や社会情勢の変容を強く実感する事象があるのです。とりわけ子どもの成長を取り巻く環境の変化は顕著ではないかと思えます。

そして、核家族化と地域社会の横のつながりが希薄になる傾向が拍車をかけて、子どもの社会性が育ちにくい環境の悪化を懸念しております。

さらに学校教育も、学力だけでなく、知育、体育を養い健全な青少年への成長を促すという本来の役割を果たせていないのではないかと、との疑念を強く感じております。

この観点から、スカウト本人の自発性を大切に、野外活動やグループ活動を通じて、自主性、協調性、社会性などを育むことを目的としたボーイスカウト活動が、今まで以上に重要な役割を担っていると確信しています。

最後になりますが、ボーイスカウト活動のますますの充実発展のために、賛助会の皆さまの一層のご尽力をお願い申し上げます。併せて、会員各位のご健勝と

ご発展を心からお祈り申し上げ、連帯のご挨拶といたします。

弥栄

■賛助会からのお知らせ

◆賛助会ネツカチーフ限定配布

15 枚限定では有りますが、2000 円/枚で配布できることになりました。ご希望の方は事務局へお申し出ください。

◆ご寄付がありました！

川崎第26団OBの松下悦孝氏から賛助会へご寄付がございました。どうも有難うございました。

■理事会報告

・第208回 2022年3月13日WEB会議

- (1) 2021年度の賛助金関連
- (2) 地区の近況報告
- (3) ブーメラン誌の発刊について
- (4) 会員増強について
- (5) ネッカチーフについて
- (6) BS川崎地区70周年記念誌について
- (7) ゴルフコンペについて

・第209回 2022年4月17日

川崎市総合自治会館

- (1) 総会に向けて
- (2) ゴルフコンペの実施要領について
- (3) ブーメラン誌の発刊について
- (4) 2022年度の賛助金関連
- (5) 会員増強について
- (6) ネッカチーフの配布について
- (7) BS川崎地区70周年記念誌の配布



■賛助会員の分布(2022年4月現在)

- ・準会員 8名
- ・個人会員 98名(議員22名含む)
- ・団体会員 14団体
- ・法人会員 12法人

■会員募集

賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。

◆賛助会員の種類と会費

- ・準育成会員(年会費) 一口 2,000円
 - ・個人会員(年会費) 一口 5,000円
 - ・団体会員(年会費) 一口 10,000円
- 下記へご連絡ください。

■お問い合わせ：賛助会事務局：鈴木

E-mail : sanjokai@scout-kawasaki.org

ホームページ :

https://www.scout-kawasaki.org/?page_id=226

●編集後記

新緑がまぶしい季節になりスカウト活動も少し活発になってきたようだ。そして、川崎地区創立70周年記念誌が発刊された。川崎地区の歴史を誇らしく思い、素晴らしい先人に感謝したい。

一方、世の中はコロナ問題に加え、ウクライナの悲惨な状況が報道されている。早く紛争なき平和な世界になるように祈ります(H)

【法人会員のご紹介】

順不同・敬称略

富士高圧ガス工業株式会社 神奈川県川崎市川崎区鋼管通 代表 谷屋 利隆	株式会社 テタケ 神奈川県川崎市中原区新城 代表 出竹 惇文	株式会社 沼崎商会 東京都世田谷区尾山台 代表 沼崎 匡一
日本エード株式会社 東京都中央区日本橋本石町 代表 小清水 克臣	株式会社 上作商店 神奈川県川崎市高津区向ヶ丘 代表 手塚 功	ドリームキッズさぎぬまナーサリー 神奈川県川崎市宮前区鷺沼 代表 富山 純江
特定非営利法人 子育てを応援する会 神奈川県川崎市高津区末長 代表 飯野 道子	コパロン株式会社 宮城県仙台市宮城野区扇町 代表 長澤 清	呉エンジニアリング有限公司 神奈川県川崎市中原区中丸子 代表 野沢 義幸
株式会社 アヴオン 保育所 ビッコリ・アンジェリ 神奈川県川崎市高津区末長 代表 青木 しづ子	株式会社 保育所ひまわり 神奈川県川崎市幸区小倉 代表 耳田 英恵	株式会社 アップ総合企画 神奈川県川崎市川崎区元木 代表 田中 勇人
		